

特別講演会のお知らせ

岡田 弘晃 先生

東京薬科大学 名誉教授、株式会社岡田 DDS 研究所 代表取締役所長

演題：「New Modalities によるバイオ創薬と革新的 DDS」

日時： 2025 年 6 月 27 日（金）16:00～

場所： 北海道大学薬学部 1 階 第一講義室

主催： 日本薬学会北海道支部・北海道 DDS 研究会

概要

現在、世界で最も使用されている医薬品の TOP20 の実に 7 割はバイオ医薬品で、薬物治療の限界の突破口として、これらのペプチド、抗体、RNA、DNA、細胞などの New Modalities に大きな期待が寄せられている。そして、このバイオ創薬を支える技術としていろいろな DDS（薬物送達システム）技術が開発されている。近年、その最も偉大な成功例として、mRNA による新型コロナワクチンがある。また、遺伝子診断と分子標的抗がん剤による Precision Medicine（精密医療）が展開されたが治療薬物の限界によって、残念ながら成功していない。そこで実用化に成功した例として、自己投与が容易な粘膜投与製剤、生物学的半減期が短いペプチド薬の長期徐放性注射剤、標的化可能な環状ペプチドや抗体薬、先天性遺伝子疾患に有効な遺伝子治療薬、遺伝子編集薬、siRNA 薬、Car-T 療法などの細胞治療薬などを紹介する。当然のことながら DDS のみでの創薬は無く、これに適した薬物との出会いが必要で、これらのバイオ創薬の現状を紹介する。

連絡先：北海道大学大学院薬学研究院 薬剤分子設計学研究室

山田 勇磨（u-ma@pharm.hokudai.ac.jp）